

青森県総合防災訓練で地震保険・ハザードマップ等を紹介

～ 地震保険の付帯率県内ワースト1の弘前市で開催 ～

日本損害保険協会東北支部青森損保会（会長：武藤 大輔・東京海上日動火災保険株式会社青森支店長）は、10月30日（水）に弘前市運動公園で行われた青森県総合防災訓練に参加しました。

県の総合防災訓練は毎年行っており、今年は弘前市で開催し80機関・団体の約3,500名が参加しました。弘前市は、地震保険の付帯率が、青森県（県平均72.3%）で最も低い62.1%となっており、全国平均69.7%を下回っています。過去にあまり大きな自然災害に見舞われることがなかった地域であるため、地震や水災害に対する意識は必ずしも高いとは言えず、今回、防災訓練への参加を通して市民の皆さんに周知を呼びかけることにしました。

ブースでは、地震保険と火災保険の水災補償にかかるクイズを行うとともに、ハザードマップにかかるアンケートを行いました。20代～80代までの男女46名に回答いただいた結果は以下のとおりです。来場者の多くは日頃防災に関わっている方であったにも関わらず、地震保険の加入方法については半数以上の方が認識されていませんでした。なお、活火山である「岩木山」のふもとの街ということもあり、噴火にかかる補償についての質問もいくつか寄せられ、「地震保険で対応できることを知らなかった」という感想もありました。

<クイズ・アンケート結果>

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ① 地震保険は火災保険とセットでなければ加入できない（→はい） | 正答率 45.7% |
| ② 火災保険で補償されるのは火事の場合のみである（→いいえ） | 正答率 69.6% |
| ③ 自宅や勤務先のハザードマップを確認したことがある | あり 89.1% |

ブースには、防災訓練の統監として青森県知事の宮下氏も来場され、松代事務局長から、弘前市は地震保険の付帯率が低いことや、協会の防災にかかる普及啓発の取組みについて説明しました。

今後も、当支部では、関係機関と連携して防災に関する取組みを推進し、県民の安全・安心に繋げてまいります。



クイズに答えてもらった方に
防災に役立つノベルティをプレゼント！



ブースを訪れた宮下県知事（旗の右隣）に
説明する松代事務局長